

医師と医師会を結ぶ情報紙

都医 NEWS

Vol. 721

東京都医師会定例記者会見	01
底流 / 地区医師会長連絡協議会報告	02
令和7年度 東京都大学医師会連絡協議会 ほか	03
令和7年度 湾岸四都市医師会懇談会 ほか	04
みどりの広場 ほか	05
ふれあいポスト	06
感染症豆知識 ほか	07
地区医師会長からの一言	08

発行所 ■公益社団法人 東京都医師会 〒101-8328 千代田区神田駿河台2-5 TEL. 03-3294-8821(代) 定価 ■1部77円



二輪草

撮影：大畑隆郎(板橋区医師会)

東京都医師会 定例記者会見

2月10日(火)

尾崎治夫会長は、2026年重点政策の1つ、予防医療の推進により75才まで誰もが健康に活動できる社会を目指す、その課題について解説した。

子ども・女性・高齢者など、年代ごとに必要な予防接種があり、ワクチンで予防できる病気はしっかり予防していくことの重要性について訴えた。乳幼児・幼児期・学童期に必要な予防接種や、女性のHPVワクチン・RSウイルスワクチン、2026年度以降に沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)に変更になる高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種について述べた。

次に、学校や企業と連携した健康教育の推進強化を呼びかけた。学校でがん教育・性教育・たばこやアルコールのリスクなどの教育を受ける必要性を伝えるとともに、社会保障の問題や税金の使われ方などを含め、北欧で行われている教育を参考にしながら「ある程度正確な知識とそれを応用する力が身につけられる社会環境を作っていくべき」と述べた。

「ある程度正確な知識とそれを応用する力が身につけられる社会環境を作っていくべき」と述べた。

「子どもが主体的に自らの健康を守る文化」を育てていくことが重要と訴え、引き続き各担当役員から説明するつもりだ。

川上一恵副会長は「生きたる力を育む」子ども時代からの健康教育について、麻しん風しんワクチン接種状況を用いて解説した。

第1期(1歳児)では、コロナ禍の3年間を経て全国的に接種率の低下がみられ、更に第2期(就学前1年間)では、2022年から90%未満の接種率もみられるようになった。

日本は2015年3月に麻しんの排除国、2025年9月に風しんの排除国としてWHOに認定されたが、95%以上の接種率を保つことができなければ排除国認定を維持できず、このまま接種率の低下が進むと日本でも麻しん・風しんに感染し、生命に関わる状況に陥る子どもが発生することが懸念される。この結果は、ワクチン接種の必要性や安全性についての理解が不十分であることが要因の一つであると強い危機感を示した。

健康教育を進めるためにも、ライフコースに応じた健康リテラシー向上へのアプローチが必要と指摘した。東京都医師会では、主に中学校の授業での活用を想定した「健康教育用スライド」(感染症・性教育・喫煙防止など)や、メンタルヘルスについて『子どもたちが自分を大事にするためのブックレット』を作成し無償で提供している。

子どもたちや保護者に直接語りかけるのと同時に、養護教諭など先生方への資料提供や授業内容の解説を行いながら、健康教育を進めていきたいと思います。

鳥居明理事は「予防医療からの胃がん撲滅戦略」(東京胃がんゼロ作戦)を掲げ、現状と課題について言及した。



尾崎会長

一方で、専門医や学校医だけでは伝えきることができないため、養護教諭などと連携しながら健康教育を充実させる必要があると指摘した。東京都医師会では、主に中学校の授業での活用を想定した「健康教育用スライド」(感染症・性教育・喫煙防止など)や、メンタルヘルスについて『子どもたちが自分を大事にするためのブックレット』を作成し無償で提供している。

子どもたちや保護者に直接語りかけるのと同時に、養護教諭など先生方への資料提供や授業内容の解説を行いながら、健康教育を進めていきたいと思います。

鳥居明理事は「予防医療からの胃がん撲滅戦略」(東京胃がんゼロ作戦)を掲げ、現状と課題について言及した。



川上副会長

早期治療を目指す。二次予防の検診体制では、2016年に胃内視鏡検査が対策型胃がん検診の手法として国で認められた。一方で、無症状者に対する検診として実施する

早期治療を目指す。二次予防の検診体制では、2016年に胃内視鏡検査が対策型胃がん検診の手法として国で認められた。一方で、無症状者に対する検診として実施する

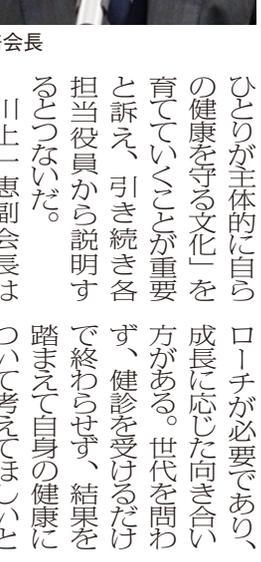
早期発見のためにも、検査のハードルが低い胃がんリスク検診(ABC検診)や、便中のピロリ菌抗原検査などにより事前にリスクを判定するとともに、リスク分類の結果を基にハイリスク群と判断された方へ内視鏡検査による胃がん検診の受診を促したい。

がんは1981年度以降死亡原因の1位であり、胃がんは男女合計で2024年が死亡数第4位であることから、予防や受診率の向上が求められる。「一次予防と二次予防を組み合わせた胃がん対策で、胃がん撲滅を目指していきたい」と、検診体制整備と普及に取り組む考えを示した。

早期発見のためにも、検査のハードルが低い胃がんリスク検診(ABC検診)や、便中のピロリ菌抗原検査などにより事前にリスクを判定するとともに、リスク分類の結果を基にハイリスク群と判断された方へ内視鏡検査による胃がん検診の受診を促したい。

早期発見のためにも、検査のハードルが低い胃がんリスク検診(ABC検診)や、便中のピロリ菌抗原検査などにより事前にリスクを判定するとともに、リスク分類の結果を基にハイリスク群と判断された方へ内視鏡検査による胃がん検診の受診を促したい。

早期発見のためにも、検査のハードルが低い胃がんリスク検診(ABC検診)や、便中のピロリ菌抗原検査などにより事前にリスクを判定するとともに、リスク分類の結果を基にハイリスク群と判断された方へ内視鏡検査による胃がん検診の受診を促したい。



鳥居理事

早期発見のためにも、検査のハードルが低い胃がんリスク検診(ABC検診)や、便中のピロリ菌抗原検査などにより事前にリスクを判定するとともに、リスク分類の結果を基にハイリスク群と判断された方へ内視鏡検査による胃がん検診の受診を促したい。

底流

「救急搬送の有料化」に関する議論から

無料のフリーアクセス喪失の議論の中に、進みゆく社会規模の縮小に伴う医療提供のあり方の今後を想う。

東京都の救急搬送件数は年々増加し、令和7年の出場件数は93万件を超え、そのうち軽症の割合は50%を超える(重症以上は約7%)。75歳以上の救急搬送が40%以上を占め、更に今後の高齢者救急は2020年から20年間36%増加する見込みである。救急現場は負担に喘ぎ、三重県松坂市は2024年から入院に至らなかつた軽症者の利用に7700円を請求する救急車の有料化を始めた。同様の試みは茨城県の主な22病院でも施行している。有料化のねらいは軽症者の不適切利用を抑制し、より必要な患者にリソースを優先すること。京都市医師会では、救急搬送に関連した選定療養費について

有料化への反対・慎重論では、経済的負担が利用を萎縮させること、医療アクセス制限につながる可能性、医学的緊急性が明確でないケースが多いことなどを挙げている。既得の無料医療サービスは有料化するというこの議論は、直接の影響のみならず、都内173救急病院にアンケート調査を行った。紹介のない初診として救急搬送に対しても選定療養費を徴収している紹介重点医療機関は27.1%(19施設)、軽症例に対する徴収は全体で約13%であった。事実上の有料化は未だ限られていると言えそう。

有料化への反対・慎重論では、経済的負担が利用を萎縮させること、医療アクセス制限につながる可能性、医学的緊急性が明確でないケースが多いことなどを挙げている。既得の無料医療サービスは有料化するというこの議論は、直接の影響のみならず、

我が国のさまざまな医療システムの将来への示唆を与えてくれる。躊躇なく救急要請ができるということは単なる医療サービスを越え、安心の提供という社会保障であり社会の基幹だ。一方で、将来にわたる医療の人材不足や経済制限のもとでは、爆発する高齢者需要と限りの供給の間アンバランスが拡大し続けるのは間違いない。有料化など単一の対策では不十分で、ほかにも適正利用のための救急相談(＃7119など)や、適切利用キャンペーンを展開して対応している。

しかし、真に問うべきは、そもそも医療へのフリーアクセスを制限するのか、あるいは維持するにはどのような根本的な改革が必要なのかであろう。これから人口動態に従ってさまざまな局面で社会規模が縮小してゆく中で、医療提供体制においては何を優先し、何を切り詰めるのか、根本的なシステム改革ができるのか、急ぎ行うのか漸進的かなど、将来を見据えた議論と実行力が求められよう。その観点から、今始められることは限られるが、地域医療構想の議論とそれに基づく医療計画にしっかりと関わることは重要と思われる。

(小平祐造)

地区医師会長連絡協議会報告

令和8年2月20日(金)

一層研鑽を積み都民の期待と信頼にこたえられるよう医療に関わっていく所存である」とと決意を述べるとともに感謝の意を表した。

◎都医からの伝達事項

(1) 令和7年度在宅難病患者訪問診療事業地区医師会別実施状況(第3・4半期)について

標記事業の今年度第3・4半期分について報告した。引き続き事業実施にご協力いただきたい。

(2) 特別養護老人ホームに勤務する配置医師の職務内容に関する調査について

特養の配置医師制度は、長く見直しがされておらず、現在の要介護3以上の終の棲家としての特養への医療提供の在り方としては、脆弱な状況であると考えられる。このた

冒頭に、東京都医師会功労賞の表彰式が行われた。令和7年度は10名が受賞し、当日は5名が参加した。受賞者には尾崎会長から表彰状と記念品が授与され、代表して稲葉義方氏(杉並区医師会)が謝辞を述べた。

稲葉氏は「医療人として責任の重大性を認識しながら、



表彰式に列席した受賞者と尾崎会長

び、東京都高齢者福祉施設協議会を通じて施設長と配置医師宛てに実態調査を実施していただく。

(3) 東京都医師会在宅医療委員会勉強会の開催について

標記委員会では、一橋大学大学院経済学研究科教授井伊

雅子先生を招き「これから東京に求められる医療」についてご講義いただく勉強会を4月1日(水)午後7時から開催する。今回は本会の各種委員会委員、地区医師会会長を対象に集合形式で開催する。先生方等に視聴いただきました。周知をお願いいたします。

(4) 東京都高齢者見守りサポーター協定について

東京都では、高齢者の見守り活動の更なる普及・向上を図る取組を進めるため、都内で広域的に活動する事業者・団体と「東京都高齢者見守り

「東京都救急受診ガイド」について、AIによる緊急度判定から、GPS(位置情報)の活用による医療機関案内までを一体的に行う「新たな東京版」を構築し、3月2日(月)午前9時に都民へ公開する予定である。会員への周知をお願いいたします。

◎出席者による意見交換

◎その他

①地区医師会への情報セキュリティ対策に基づく委託先状況確認調査について

サポーター協定」を締結しており、本会も同協定を締結した。各地区医師会においても地元自治体との間で高齢者見守りの連携体制の強化・構築を行っていただきたい。

(5) 令和7年度がん検診受託機関講習会(オンデマンド)の開催について

標記講習会を2月6日から3月5日までを視聴期間として、オンデマンド配信にて開催している。区市町村のがん検診を受託している医療機関の先生方等に視聴いただきました。周知をお願いいたします。

(6) 地区医師会社会保険担当理事連絡会及び令和8年度東京版救急受診ガイド講習会の開催について

診療報酬改定に伴う「地区医師会社会保険担当理事連絡会」を4月15日(水)午後7時より開催するので参加をお

願いました。また、一般医療機関向けの「令和8年度東京都医師会診療報酬改定講習会」を4月下旬に3回開催するので、会員への周知についてご協力いただきたい。

併せて、ベースアップ評価料の2月中の届出について、会員への再周知をお願いいたします。

(7) かかりつけ医機能報告制度のさらなる報告について

3月末までに報告することとなっている「かかりつけ医機能報告」について、現時点での状況が示された。できるだけ多くの会員に報告いただきたく、改めて会員への働きかけをお願いいたします。

(8) 東京版救急受診ガイド(WEB版)の刷新及び事前公開について

東京消防庁では、自ら症状の緊急度を判断できるツール

セスを制限するのか、あるいは維持するにはどのような根本的な改革が必要なのかであろう。これから人口動態に従ってさまざまな局面で社会規模が縮小してゆく中で、医療提供体制においては何を優先し、何を切り詰めるのか、根本的なシステム改革ができるのか、急ぎ行うのか漸進的かなど、将来を見据えた議論と実行力が求められよう。その観点から、今始められることは限られるが、地域医療構想の議論とそれに基づく医療計画にしっかりと関わることは重要と思われる。

(小平祐造)

令和7年度 公益社団法人東京都医師会功労賞受賞者

(敬称略)

■東京都医師会代議員(10年在任)

- 稲葉義方 (杉並区医師会)
- 内原正勝 (三鷹市医師会)

■東京都医師会委員会委員(10年在任)

- ◎都立学校心臓検診判定委員会
 - 上田知実 (榊原記念病院)
 - 萩原教文 (帝京大学)
- ◎タバコ対策委員会
 - 池上晴彦 (玉川医師会)
- ◎感染症予防検討委員会
 - 萩原温久 (板橋区医師会)

◎公衆衛生委員会

- 三坂武温 (八王子市医師会)

◎乳幼児保健委員会

- 松本 勉 (八王子市医師会)

◎救急・災害委員会

- 益子邦洋 (八王子市医師会)

◎救急・災害委員会 区市町村災害医療

- コーディネート研修部会
- 丸山嘉一 (日本赤十字看護大学附属災害救護研究所)



稲葉氏

東京都大学医師会連絡協議会

令和7年度

1月28日(水)、都内で標記協議会が開催された。本年度の当番医師会である東京科学大学医師会の藤井靖久会長による開会挨拶で幕を開け、東京都医師会の尾崎治夫会長の来賓挨拶では大学医師会の尽力に感謝の意が表され、会は始まった。

本年度のテーマは「物価高騰時代の大学病院経営」で、12大学医師会からそれぞれの大学が持つ問題点の洗い出しと、それに対する努力や工夫に富んだ取り組み、今後の課題について、熱心に発表がなされた。いずれも「増収減益」を示す大学が多く、活発な意見と討議が繰り広げられた。

支出が増えている要因としては、医師の働き方改革による医師雇用人件費の増加、医師以外の人件費高騰による業務委託費の増加、医薬品・材料費の高騰等を挙げ、藤井会長が多かった。それに対する具体的な支出削減としての工夫では、電力会社の入札制を取り入れることで光熱費の減額に成功した

例、食品ロスを少なくして食料費は抑えながらも質を落とさない工夫、各々の大学附属病院の医療材料の共同購入によって経費を削減できた例などが発表された。

また収益部分では、土曜日の週日化や月曜祝日の外来診療を増やした例などの工夫も挙げられた。いかに入院稼働率を上げていくかも話題となり、いずれの大学医師会も、公益性と持続可能な大学病院経営をいかにうまく両立させていくかが課題と語った。

終盤、東京都医師会の土谷明男副会長から「都内病院の経営状況」について、地域医療構想のもと、地域での役割分担を求めていく必要があると報告された。また、同医師会の西田伸一理事による「在宅医療について」の発表では、一次医療の体制強化が伝えられた。

熱心な発表と討論で第一部は幕を閉じ、懇親会に会場を移した。それぞれの大学医師会の課題は共通する部分が多く、参加者一同、本音や悩みを共有できる有意義な会となった。



藤井会長の挨拶

健康食品との関連が疑われる健康被害情報をお寄せください

東京都健康安全研究センター

健康食品は、都民の約7割に利用経験がある一方で、基礎疾患がある人で利用前に医師に相談した人は3割に満たず、中には健康被害を起こした事例も報告されています。

東京都は、平成18年7月から、東京都医師会と連携し、健康食品との関連が疑われる健康被害情報の収集、学識経験者による分析及び評価、都民等への情報発信など、健康食品による健康被害の未然防止、拡大防止に努めています(健康食品に関する安全性情報共有事業)。

都民のヘルスリテラシー向上並びに今後の診察等に資する情報を提供するため、健康食品との関連が疑われる健康被害情報の収集について、皆様のご協力をお願いします。

1 報告事例について

(1) 健康被害事例の内訳

	(人数)	(延べ)	(製品数) ^{*1}
東京都医師会	195人	延べ	282製品
東京都薬剤師会	280人	延べ	293製品
東京都消費生活総合センター ^{*2}	3人	延べ	3製品
計	478人	延べ	578製品

^{*1} 複数の製品を摂取している人がいるため、人数と延べ製品数は一致しません。
^{*2} 平成30年7月からは、東京都消費生活総合センターから分析、評価の依頼があった事例についても収集対象としています。
 (集計期間：平成18年7月から令和7年11月まで)

(2) 健康食品との関連が疑われる健康被害の代表的な症状

- 皮膚症状(かゆみや発疹、じん麻疹)
- 消化器症状(下痢、腹痛、胃部不快感等の胃腸症状)
- 肝機能障害(自覚症状がなく、症状が進行している場合等)

2 情報提供のお願い

【報告方法】

令和7年4月から、電子報告システム(LoGoフォーム)の運用を開始しました。健康被害情報の入力から送信まですべてWEB上で完結できます。以下のURL、二次元バーコードからアクセスしてください。
 (※従来のファクシミリ等での報告も可能です。)

<https://logoform.jp/form/tmgform/healthfood-tokyo-med>



【入力時の留意事項】

- ① 入力項目は15問です。
- ② 製品名(Q3)は具体的に入力してください(製品写真のアップロードも可能です)。
- ③ 入力必須項目の情報がわからない場合は「不明」と入力してください。

■事業内容に関する問合せ先

東京都健康安全研究センター 企画調整部
 健康危機管理情報課 食品医薬品情報担当 TEL：03-3363-3472

一般社団法人稲城市医師会 法人格取得40周年記念式典・祝賀会

1月31日(土)に標記記念式典および祝賀会が開催された。稲城市医師会の力石昭宏副会長による開会の辞で始まり、関根秀明第11代会長挨拶では稲城市医師会の歴史が披露された。

続く来賓祝辞で東京都医師会の尾崎治夫会長から、稲城市医師会から受けた温かい支援とアドバイスについてユーモアに溢れた逸話が語られ、会場は笑いに包まれた。また稲城市の高橋勝浩市長からは、小規模な都市ならではの市民に対するきめ細かいサービスの工夫や独自の消防救急体制について、コロナ禍での稲城市医師会の献身的な努力が述べられた。

祝賀会は稲城市医師会の齋藤淳一理事の乾杯で始まり、長島昭久衆議院議員と遠藤千尋東京都議会議員から来賓祝辞があった。引き続き行われた

た功労表彰では、立花泰夫先生の小児医療に対する長年にわたる貢献に対して表彰と花束贈呈がなされた。

近隣医師会長を含め多数の参加者で和やかに歓談が進み、スペシャルライブとして光山組による尺八と箏の演奏が披露され、数十年前のヒットメドレーの曲名を思い出すのに参加者一同が力を合わせるようになった。更に稲城市医師会の敷島康史副会長のギター演奏参加で会場は熱気に包まれた。

続いて「稲城市医師会40年のあゆみ」として、歴代会長や会員の団結力が表れた40年間の映像が披露された。時



後列) 土谷副会長、平川副会長、坂田市議会議長、川上副会長
 前列) 関根会長、尾崎会長、高橋市長、遠藤都議会議員

代の流れとともに地域医療の提供体制を充実させた努力に、参加者一同釘付けとなった。名残惜しい雰囲気の中、敷島副会長による閉会の辞にて、

極寒の冷気と夜の闇に覆われながらも暖かく長い歴史のある神社に包み込まれ、式典は幕を閉じた。

医師国保からのお知らせ

マイナ保険証を利用している場合も届出が必要です

例年、資格喪失等の届出が多い時期です。下記に該当した場合は、資格喪失となりますので、医師国保組合へ届出をお願いいたします。

- 第1種・第3種組合員(医師)が医師会を退会、又は医療の業務に従事しなくなったとき
- 第2種・第4種組合員(従業員)が退職したとき
- 家族が世帯から転出したとき
- 定められた地区外に住所を異動したとき

◎なお、令和8年4月から子ども・子育て支援金の徴収が始まります。徴収金額については、当組合のホームページ等でお知らせいたします。

各種届出に必要な書類は、ホームページよりダウンロードできます

東京都医師国民健康保険組合

☎03-3270-6433 (業務課)

都医 HP・Eメール

■ ホームページアドレス

<https://www.tokyo.med.or.jp>

■ Eメールアドレス jimu@tokyo.med.or.jp



岡野会長

恒例となった湾岸四都市医師会懇談会が2月7日(土)に開催された。今年度は川崎市医師会が主務地医師会、講演テーマを「川崎が目指す特別市について」とし、川崎市の福田紀彦市長より特別市制度や指定都市市長会の取組状況、最新の動向などの発表があった。

この特別市制度の実現に



平川副会長

は全国の指定都市とともに、国や国会議員などに働きかけ、より多くの関係者を巻き込んだ議論が求められる。今後の人口減少を見据えて、さまざまな取組みが行われていることを改めて考えさせられた良い会であった。



福田市長

浜市医師会の戸塚武和会長の挨拶があり、東京都医師会5名・千葉市医師会3名・横浜市医師会4名・川崎市医師会8名の出席者紹介があった。



大濱会長



戸塚会長

令和7年度

湾岸四都市医師会懇談会

令和8年

多摩ブロック医師会 代議員連絡会懇親会



出席者による記念撮影

2月16日(月)、都内ホテルにて第1回多摩ブロック医師会代議員連絡会懇親会が開催された。本連絡会の山下弘一会長の挨拶に続き、熊野雄一氏からの令和7年会計報告があった。多摩ブロック医師会会長・副会長協議会の富上



山下連絡会会長

町田市長選で初当選を果たした町田市医師会の稲垣康治前理事の選挙戦にふれ、今後の地域における医療提供体制の充実に向けて希望に満ちた提案がなされた。来賓挨拶では、東京都医師会の尾崎治夫会長よりベースアップ評価料の申請率が低い点についての指摘があり、厚生労働省や東京都の「医療機関等における賃上げ・物価上昇支援事業」では、3月1日時点で本届出を提出していることが補助金受給の必要条件となっていることや、今後の診療報酬改定では有利になる点について述べ、会員に申請を促すようアドバイスがなされた。

東京消防庁救急相談センター (#7119)

令和7年 救急相談センター (#7119) の受付状況のご報告

昨年1年間の受付状況についてご報告いたします。総着信件数、受付件数、救急相談件数ともに前年に比べ増加しており、これらの件数は過去最多件数を更新しています。特に救急相談件数については対前年比7.8%と著明に増加しており、都民に対する#7119の認知度が上がっていることがその要因の一つとして考えられます。運営にご理解いただいている先生方、出務していただいている先生方に改めて感謝いたします。

#7119は、増加する救急相談需要に対応するため、本年12月から令和14年に予定されている東京消防庁新本部庁舎竣工までの間、中央区の臨港消防署内へ規模を拡大し、一時移転いたします。一時移転後はフロア面積が約1.4倍となり、救急相談に対応できる台数が現在の約3倍となります。このため繁忙時間帯の回線混雑等により取り切れなかった電話(=トラフィック)にも一定数対応できるようになることで、更なる救急相談件数の増加が見込まれます。勤務経験の浅い相談看護師も増え、先生方へのご負担も増すかと存じますが、引き続きご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

東京消防庁救急相談センター受付状況 (速報値)

[令和7年1月1日から12月31日まで]

	累計	前年件数	前年同時期増減(増減比)	受付件数に占める割合	前年同時期	1日あたりの件数
総着信件数	602,621	599,275	3,346 (0.6%)			1,651.0
受付件数	503,479	485,432	18,047 (3.7%)			1,379.4
救急相談	356,348	330,640	25,708 (7.8%)	70.78%	68.11%	976.3
救急要請	67,033	63,633	3,400 (5.3%)	(※1)18.81%	(※1)19.25%	183.7
医療機関案内	139,402	148,230	-8,828 (-6.0%)	27.69%	30.54%	381.9
相談前救急要請	7,537	6,280	1,257 (20.0%)	1.50%	1.29%	20.6
かけ直し依頼	192	282	-90 (-31.9%)	0.04%	0.06%	0.5
応答率(※2)	83.5%	81.0%	2.5P			

(※1) 救急相談件数に占める割合
(※2) 応答率とは、総着信件数に占める受付件数の割合(応答率=受付件数÷総着信件数(%))

看護師への医師助言	27,245	24,659	2,586 (10.5%)			74.6
通信員への医師助言	64	332	-268 (-80.7%)			0.2

215 みどりの広場

プレジジョン・メディシンの展望

国立健康危機管理研究機構
国立国際医療センター
初期臨床研修医1年目

末尾光多



2015年、当時のオバマ米大統領は、一般教書演説でプレジジョン・メディシン・インシアチブの立ち上げを宣言し、約2億ドルの国家予算を投じて主になん領域での研究を加速させた。プレジジョン・メディシンとは個々人の病態や遺伝情報などの違いを考慮し、最適化された予防・治療法を提供することを特徴とする。具体的には、疾患に特異的なメカニズムを狙った分子標的薬の開発などが挙げられる。

2015年、当時のオバマ米大統領は、一般教書演説でプレジジョン・メディシン・インシアチブの立ち上げを宣言し、約2億ドルの国家予算を投じて主になん領域での研究を加速させた。プレジジョン・メディシンとは個々人の病態や遺伝情報などの違いを考慮し、最適化された予防・治療法を提供することを特徴とする。具体的には、疾患に特異的なメカニズムを狙った分子標的薬の開発などが挙げられる。

2015年、当時のオバマ米大統領は、一般教書演説でプレジジョン・メディシン・インシアチブの立ち上げを宣言し、約2億ドルの国家予算を投じて主になん領域での研究を加速させた。プレジジョン・メディシンとは個々人の病態や遺伝情報などの違いを考慮し、最適化された予防・治療法を提供することを特徴とする。具体的には、疾患に特異的なメカニズムを狙った分子標的薬の開発などが挙げられる。

して有効例の特徴を同定し、治療対象を適切に層別化できれば、治療効果の最大化と医療資源の効率化が可能となる。そしてこの新しい医療の核心には、あらゆる患者データを網羅的に集積した大規模データベースの構築がある。日本ではこの医療情報の二次利用の整備が進んできている。この整備が進んでくれば、大規模データベースが作られてきたが、これはレセプト情報をもとにしており、治療介入のデータはわかっていても、アウトカムをうまく収集できない欠点があった。それに対し、2018年に施行された次世代医療基盤法では、国の認定を受けた事業者が、アウトカム情報を含む医療データを連携病院から収集し、名寄せした上で研究利用が可能な形で加工を行える仕組みが整えられた。この情報はNDBに連結できるようにしており、術によって新たな形で実装されつつある。個々の患者に最適化された医療の実現に向けて、この変革を担う医師でありたい。



お店は甲州街道沿い、多摩御陵のそばに位置する

八作ラーメン

昔ながらの サッパリ塩豚骨ラーメン

趣味の散歩

八王子市の甲州街道沿いには、昔のままのサッパリ系塩豚骨ラーメン店が存在する。その名も「八作ラーメン」。最近では臭いが強くコッテリ系が主流の豚骨ラーメンであるが、昭和30年〜40年代はサッパリ系が主流だったと言われている。八作ラーメンは、初代店主が豚骨ラーメン発祥の地と言われる福岡県久留米市「西陽軒」(屋号)で修行し、のちに大分県臼杵市で誕生。現在で3代目に至る。

初代・2代目店主が世の流れに左右されずに頑固に味を守ってきたために昔の味が残っており、この味を多くの人に知ってもらいたいと、3代目店主が初代店主に頼み込んで修行。平成16年に「代目八作」が八王子に誕生した。店主が体調を崩してしまっただけでなく、サッパリし

知ってますか?

シーリング (ceiling)

シーリング (ceiling) とは英語で「天井・上限」を意味する。2018年4月から始まった新専門医制度におけるシーリングとは、特定の診療科や地域に専攻医が過度に集中しないよう、募集定員に上限を設ける仕組み。地域医療の偏在是正を目的に、日本専門医機構が都道府県別・診療科別に定員を設定し、医療提供体制の均衡を図っている。

代医療基盤法では、国の認定を受けた事業者が、アウトカム情報を含む医療データを連携病院から収集し、名寄せした上で研究利用が可能な形で加工を行える仕組みが整えられた。この情報はNDBに連結できるようにしており、術によって新たな形で実装されつつある。個々の患者に最適化された医療の実現に向けて、この変革を担う医師でありたい。

令和8年度 「日本医師会生涯教育講座」 スケジュール

時間 ■ 14:00~17:00
開催方法 ■ WEB配信のみ
問合せ ■ 東京都医師会 広報学術課
TEL : 03-3294-8821 (代)

開催期日	テーマ
4月30日(木)	医療技術の最先端と伝統
6月25日(木)	摂食嚥下障害への対応
8月6日(木)	女と男の更年期障害
12月24日(木)	不眠(睡眠障害)

※最新情報は東京都医師会ホームページをご確認ください。

都医ニュース2号(昭和36年2月発行)をお持ちの方はご報ください
東京都医師会 広報学術課
TEL 03-3294-8821

聞いてみよう!

「労災保険」の特別加入制度を利用すると院長先生(事業主)の万が一を補償してくれるものはどれでしょうか?

往診の際に事故に遭って負傷した (A)

診療中、医療機関内で移動した際、機器に頭を負傷した (B)

自転車を使用した通勤中、バランスを崩して負傷した (C)

東京労働保険医療協会 会長 尾崎 浩夫

当会事務組合から加入手続きいたします

※答えの確認はQRコードから

『労災保険特別加入で経営に安心を!!』

東京労働保険医療協会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5 東京都医師会館4階
TEL 03-5577-2960

FM93 AM1242 月曜から金曜 ニッポン放送 あさ6時10分頃から

『モーニングライフアップ 今日の早起きドクター』 放送中!

ニッポン放送 (AM1242kHz/FM93.0MHz) 朝の番組「飯田浩司のOK! Cozy up!」内で6時10分頃から5分程度、東京都医師会の役員・委員会委員等が出演して生活に役立つ健康情報をお届けしています。過去の放送はすべて番組ホームページまたはポッドキャストから聴くことができます。

番組ホームページ
http://www.1242.com/cozy/

ポッドキャスト
https://omny.fm/shows/cozy-up/playlists/doctor

飯田浩司の OK! Cozy up!



渋谷区医師会

石崎文雄

イソヒヨドリ、おった

今年5月26日、いつも1日2往復している道でこの鳥を見た。(写真参照)

場所は渋谷区(新国立劇場)と新宿区(オペラシティ)の境で、やや渋谷区より。

見た目もきれいだし、美しい声でさえずっていた。これはイソヒヨドリ。美しいのもさえずるのもめで、♀は地味で普通のヒヨドリと私には区別できない。正確に言えば、♀はまじまじと見たことがない。

この鳥を初めて見たのは、約30年前のお正月、沖縄本島の海岸でテリトリー宣言のさえずりをしている♂の個体だった。

その後、某大学病院の某科の某教授が外国人バードウォッチャーと一緒に、沖縄本島に鳥を見にいくという。あまり気合が入っていないようなので、サギやイソヒヨドリくらいは見られるけれど、ヤンバルクイナやアカショウビンは無理そう。

ここ数年、我家周辺でも時々美声の鳥が鳴いているのに気づいていたが、姿ははっきりと確認できないでいた。遠目にはふつうのヒヨドリに見える。芸達者のヒヨドリはこんな鳴き方もするのかと思った。一度だけ中型の青い鳥を見たが、飼育されていた鳥のかご抜けかと思っていた。

とにかく、イソヒヨドリなんて南方の鳥で都会にはいないと思いこんでいたが、最近どんどん都心に進出していてアーバンライフしているらしい。

この青い鳥は幸せを運ぶとされている。チルチルミチルかい。幸せの青い雲は「笑点」だし、幸せの青い蝶はオーストラリアケアンズ付近に飛んでいるオオルリアゲハということになる。

診療所から歩いて30歩くらいの所に「日本野鳥の会」があった。会長だった柳生博氏とは数回すれ違ったが、今その場所はコンビニだ。

情報が得られないので動画を探すと、イソヒヨドリがベランダの餌台にやってくる動画があり、人間に馴れるらしい。

さえずりと地鳴きの動画も多数あり、さえずりは主として求愛とテリトリーの時の鳴き声らしい。

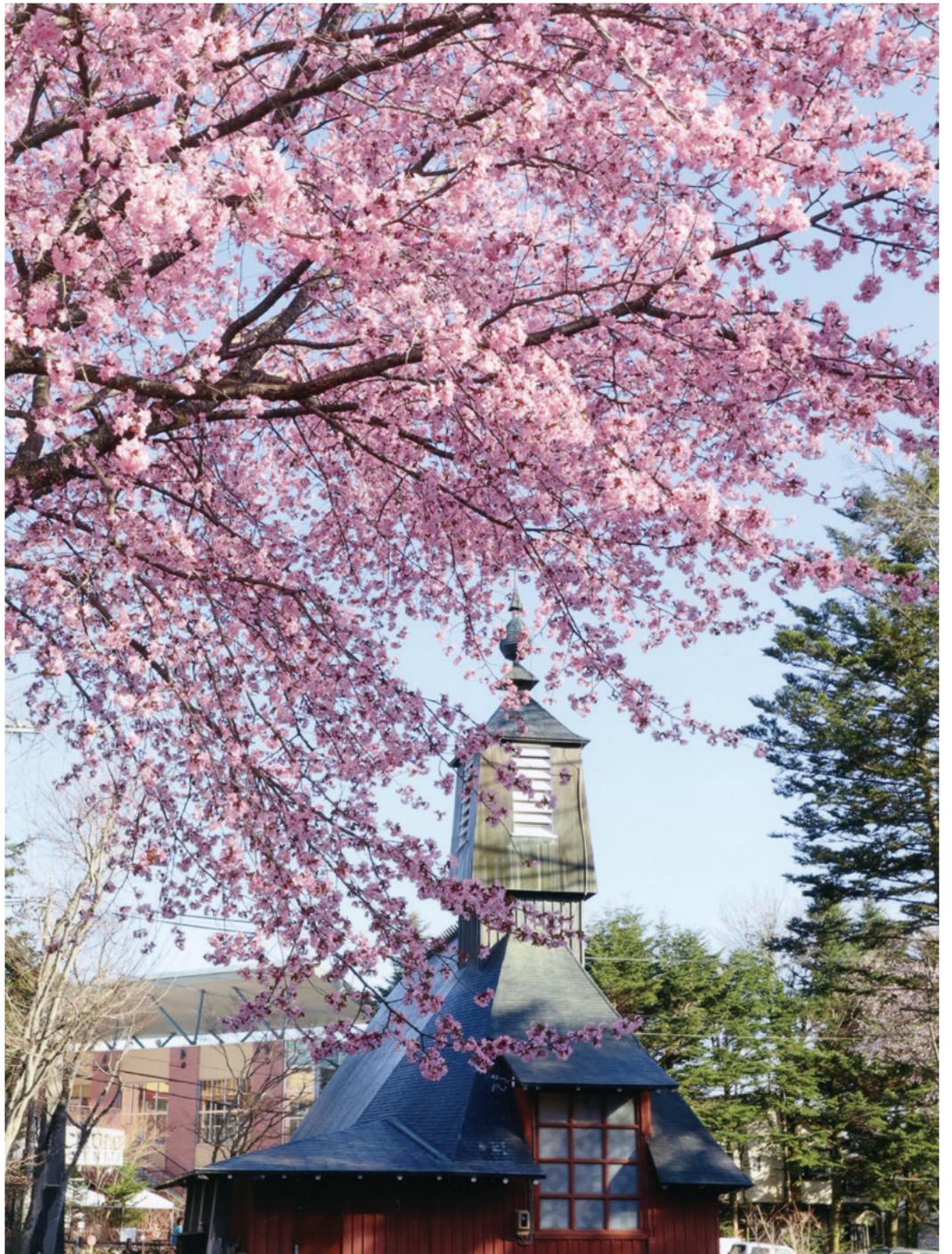
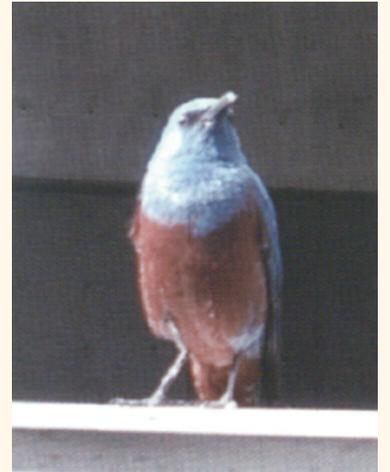
従って6月に入ってから、この鳥の鳴き声はあまり聞かなくなった。恋愛成就して育児中(給餌中)なら、さえずる意味ないしさえずっている時間もないだろう。

不思議なのはどこで繁殖しているのかとか甲州街道の北側の本町ではよく鳴き声を聞く

が南側の初台では聞いていないこと。

次に本当に幸せを運ぶのかということで、父の葬儀の時の線香は青雲だったか知らないが、以前オーストラリアでオオルリアゲハをたくさん見たがとくに幸せになったとは思えない。イソヒヨドリを見てどうかもわからないが、この鳥を間近で観察できたし、正体不明の美声の持主が何だったかもわかったので、このこと自体が幸せだったと思うべきか。

(「渋谷区医師会会報」2024年8月 第744号より抜粋)



軽井沢 聖パウロカトリック教会 中庭のオオヤマザクラ

無声拝聴

川柳に映るAI時代

先日、「サラ川ベスト100」が発表された。2025年の世相を反映し、物価高や米不足、大谷翔平選手と並んで、AIをテーマとした句が数多く選ばれた点が印象的である。

AI関連の句は11句を数え、「AIに相談してから人に聞く」「感涙のスピーチ書いたのAIです」など、相談・代行・共感といった人間的領域にまでAIが入り込む日常が、ユーモアを交えて描かれている。昨年の1位が「AIの使い方聞くAIにであったことを思えば、この一年でAIが「新技術」から「生活の一部」へと急速に変化したことが分かる。

この変化は医療分野においても例外ではない。画像診断では、レントゲンやCT、MRI画像をAIが解析し、所見の見落とし防止や早期発見に寄与している。診断・治療の場面でも、膨大な症例データを基に、鑑別や治療選択を支援するツールとして活用が進む。また、カルテ入力や予約管理といった事務作業の効率化など、AIは医療現場の各所に浸透しつつある。

もっとも、医療AIは医療の質を向上させるためのツールであって、医師の代わりではない。判断の最終責任は常に我々医師にあり、AIは補助的存在にとどまるべきだ。便利であるがゆ

えに、過信や依存が最大のリスクとなる。AIの限界や特性データの偏り、倫理や責任の所在、そして人にしか担えない臨床判断や対話の価値を学び続ける姿勢が求められる。

ところで「サラ川」というと、「サラリーマン川柳」というイメージが強かったのだが名称変更され「サラっと一句！わたしの川柳コンクール」と変更されたのはご存じだったろうか。名称変更の理由についてAIに確認したところ、「時代が変わったからです」と即答された。なるほど、そういうことなのだろう。

(宇野真二)

眼科感染症の最近の動向

東京都感染症発生動向調査事業の対象となる眼科疾患には、急性出血性結膜炎と流行性角結膜炎の2疾患がある。両疾患ともにウイルスが原因で、非常に感染力が強く、患者の目やにや涙を触った手、使用したタオルや洗面器などを介して感染が広がる。

急性出血性結膜炎の原因ウイルスは、エンテロウイルス70型やコクサッキーウイルスA24変異株である。潜伏期は1日間で、眼痛、異物感が生じ、結膜充血、結膜下出血などが出現する。特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行う。約1週間で自然と治癒する。

流行性角結膜炎は「はやり目」とも呼ばれ、原因ウイルスは主にアデノウイルス8、19、37型である。眼科では流行性角結膜炎疑いの患者に対して、アデノウイルス抗原精密測定検査を行う。感染の有無は7分ほどで確認できる。潜伏期は1～2週間で、結膜充血、眼瞼浮腫、眼脂、流涙などが出現する。こちらも特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行う。約2週間後には症状が消退する。両疾患ともに細菌の混合感染予防と消炎のために抗生物質点眼薬や抗炎症点眼薬を使用することがある。

2024年の東京都感染症発生動向調査での急性出血性結膜炎の報告数は14人、定点当たり0.36人だった。過去10年間で2023年に次いで多く発生した。年代は30歳以上が多く、86%を占めていた。

同年、流行性角結膜炎の報告数は909人、定点当たり23.37人だった。コロナ禍で約300人台まで減少したが、2023年は996人と近年増加し、コロナ禍以前に戻りつつある。発生は幅広い年代に及んでおり、30歳代が23%と一番多く、9歳以下も15%であった。

(文責：井上賢治)

感染症豆知識

東京都医師会
感染症予防検討委員会

地区医師会長からの一言 立川を知って!

立川市医師会長 富上雅好



皆様の医師会様はさまざまな事業を行っておられます。立川市医師会も遜色のない医療を立川市民に提供できますように日々努力しております。また立川市医師会は4年前に100周年を迎えました。先人の先生方の知恵と業績を踏まえ、今後の100年を見据えた持続可能な医療を目指しております。

立川市医師会の最近のトピックスといたしましては、一昨年「医療・介護フェス」を開催しております。来場者はなんと2万人を超えました。内容は認知症、ACP、災害医療など多岐にわたり、多職種連携を堅持することを目的として、医療関係者以外に行政、警察、消防署、自衛隊などの方々にもご協力いただきました。来場者も高齢者からお子様までいろいろな年代の方が参加されました。

次のトピックスといたしましては、立川市議会が「がん条例」を策定することによって立川市医師会も協力いたしました。立川市医師会産業医研修会でも「治療と就業の両立支援」をテーマに講演をいたしました。昨年2025年に団塊の世代が後期高齢者となりましたが、いまだ多くの方が元気に就業されておられます。今後ますます治療と就業の両立支援が必要になると考えております。

また立川市は立川病院、災害医療センター、立川相互病院、立川中央病院、川野病院などの総合病院があり、医療資源に

恵まれております。定期的に病診連携の会が開催され顔が見える関係を構築しております。

ここで立川市を紹介させていただきます。立川市は地理的に東京都のほぼ中央に位置しております。私は立川市を東京都の「へそ」と呼んでいます。また交通網でも中央線、青梅線、五日市線、南武線が乗り入れ、さらに多摩地区を南北に結ぶ多摩モノレールの駅もあり、交通の要となっています。中央線に限って言えますのは、乗降者数は新宿駅に次いで2番目に多い賑わいです。駅周辺には、伊勢丹、高島屋、LUMINE、グランデュオなどの百貨店をはじめ、少し離れますがIKEAや三井ららぽーとなどの大型商業施設があります。また、昭和天皇記念館を併設する国営昭和記念公園があります。広大な緑が広がり四季折々の花が綺麗です。その面積は東京ドームの約35個分あります。昨年のNHK朝ドラの『あんぱん』のラストシーンで、やなせたかし氏と奥様が一緒に歩いた撮影場所は昭和記念公園のいちょう並木です。

このように立川市のコンセプトは「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」です。我々も行政と共に取り組んでいます。

最後になりますが、立川市医師会が今後発展するためにも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。